



Press Release
報道関係各位

2026年1月19日
キャロウェイゴルフ株式会社
callawaygolf.jp

キャロウェイ
フェアウェイウッドに続いて、
新構造の浮かせたウェイトを初採用
QUANTUMユーティリティ シリーズ

キャロウェイゴルフ株式会社（東京都港区南青山 社長：庄司明久）は、「QUANTUMユーティリティ シリーズ」を2026年2月6日より、全国のキャロウェイゴルフ取扱店とキャロウェイ オンラインストア(callawaygolf.jp)にて発売いたします。

「QUANTUM」のユーティリティは、打ち出し角と打点位置の最適化をテーマに開発がスタートしました。新たなテクノロジーとしては、前作「ELYTEフェアウェイウッド」で採用された、ソール内部に浮かせて配置するスピードウェーブ構造を、より進化させている新形状のスピードウェーブ2.0をユーティリティに初採用。フェース下部でのインパクト時でもたわみ量を増大させ、ボールスピードのロスを最小限に抑制し、高い打ち出しと安定した飛距離性能を実現します。また、ロフト角とライ角の組み合わせのバリエーションが多い最新のアジャスタブルホーゼル「オプティフィット4」を前作から継続して採用。ゴルファー一人ひとりの要望に合わせて弾道を調整することができるようになりました。さらに、以前にも増して抜けが良かったステップ・ソールデザインも導入しており、あらゆる方面で完成度を高めています。もちろん、AIによるフェース設計も引きつづき導入されており、コントロールポイントがこれまで以上に強化されたことで、弾道補正効果も大きくなっています。ラインアップには、「QUANTUM MAXユーティリティ」と「QUANTUM MAX FASTユーティリティ」の2機種を用意しています。

QUANTUM (クアンタム) ユーティリティ シリーズ

QUANTUM

QUANTUM MAXユーティリティ



QUANTUM MAX FASTユーティリティ



高く大きな飛びと操作性を両立させた、 スピードウェーブ2.0の威力

QUANTUM MAX (クアンタム マックス) ユーティリティ

2026年2月6日発売予定

スピードウェーブ2.0をソール内に装着

「QUANTUM」のユーティリティ シリーズにおいても、フェアウェイウッド シリーズ同様、さらなるスピードを求めて、ヘッド内部にスピードウェーブ2.0が搭載されました。ELYTEのフェアウェイウッドで登場したタイプに改良を加えたものと同様で、トゥ・ヒール方向の全体の幅は狭くしつつ、その分、前後の距離を長く設定。また、前端はフェースの裏面ギリギリまで前進させ、ソール内面から浮かせている高さも、可能な限り低く設計されました。これにより、フェースカップ下部のヒンジ部分（L字に折れ曲がった部分）の長さを延ばすことが可能となり、フェース下部でのインパクト時でも、たわみ量を増大し、ボールスピードのロスをも最小限に抑制。高い打ち出しと安定した飛距離性能を実現しました。また、浅重心設計により、インパクトでのヘッドコントロールもしやすくなっています。なお、ユーティリティ シリーズにおいては、スピードウェーブ2.0をビスで固定せず、ソール内面に接着する方式を採用しています。

ロフト・ライ角の設定が多いオプティフィット4を搭載

「QUANTUM」のユーティリティ シリーズでは、ELYTEのユーティリティから引きつづき、オプティフィット4と呼ばれるアジャスタブルホーゼルを搭載しています。各々のゴルファーごとに好みの弾道を得られやすくするだけでなく、番手間の飛距離のギャップを、より適正なものに調整できるようになっています。

進化したステップ・ソールデザインも採用

「QUANTUM」のフェアウェイウッドと同様、ブラッシュアップされたステップ・ソールデザインも新たに採用されました。ステップの中央部分は、従来の台形型というよりは、より三角形に近い形状を採用。アドレス時のヘッドの安定感は一層キープしつつ、よりソールの抜けの良さがアップしています。

キャロウェイが培ってきたAI設計も継続導入

フェースには、キャロウェイが長年培ってきたAI設計（モデル・番手別専用設計）が導入されています。多くのゴルファーのリアルなスイングデータ、弾道データをインプットしながらAIが設計しているものです。今回は、コントロールポイントがさらに強化され、弾道補正効果もこれまで以上に発揮されるようになっており、打点ごとに打ち出し角やスピン量などを最適化しつつ、安定したボールスピードを実現。より遠くの狭い着弾範囲へとボールを運んでくれます。



※イメージ図

ホーゼルには、ロフトとライの設定が多いオプティフィット4を、ELYTEのユーティリティ同様に採用



ELYTEのフェアウェイウッドで初登場したスピードウェーブを第2世代に進化させ、ヘッド内に接着して搭載

フェースは、引きつづきAIによって設計。前作からはコントロールポイントが強化されている



段差により抜けを良くする、ステップ・ソールデザインを採用。赤く示した部分が、ソール前方部分より少し低くなっている

コントロールしやすいようなスリムなヘッド形状

構えたときにスリムに見えるヘッド形状

「QUANTUM MAXユーティリティ」は、ヘッド後方の膨らみが少なめで、全体的にスリムな印象のシェイプとなっています。よりアイアンのようにコントロールしやすくなっていると言えます。番手は3H（ロフト19度）、4H（21度）、5H（24度）、6H（27度）、7H（30度）の5種類を用意し、オプティフィット4ホーゼルを全番手に採用。ソール後端のトゥとヒールには台形を湾曲させたようなウェイト（約3gと約13g）も搭載しています。

豊富なオリジナルシャフトで、よりフィットした1本を

「QUANTUM」シリーズにおいては、より各々のプレーヤーにぴったりなクラブを提供するべく、フレックスや重量帯のバリエーションも豊富なオリジナルシャフトを採用している点も見逃せません。「QUANTUM MAXユーティリティ」には、ATHLEMAX 60とATHLEMAX 80の2種類を採用しています。



大きめのフォルムとハイロフト化で 飛んで止まる高弾道が、さらに簡単に

QUANTUM MAX FAST (クアンタム マックス ファスト) ユーティリティ

2026年2月6日発売予定

スピードウェーブ2.0をソール内に装着

「QUANTUM」のユーティリティ シリーズにおいても、フェアウェイウッド シリーズ同様、さらなるスピードを求めて、ヘッド内部にスピードウェーブ2.0が搭載されました。ELYTEのフェアウェイウッドで登場したタイプに改良を加えたものと同様で、トゥ・ヒール方向の全体の幅は狭くしつつ、その分、前後の距離を長く設定。また、前端はフェースの裏面ギリギリまで前進させ、ソール内面から浮かせている高さも、可能な限り低く設計されました。これにより、フェースカップ下部のヒンジ部分（L字に折れ曲がった部分）の長さを延ばすことが可能となり、フェース下部でのインパクト時でも、たわみ量を増大し、ボールスピードのロスを最小限に抑制。高い打ち出しと安定した飛距離性能を実現しました。また、浅重心設計により、インパクトでのヘッドコントロールもしやすくなっています。なお、ユーティリティ シリーズにおいては、スピードウェーブ2.0をビスで固定せず、ソール内面に接着する方式を採用しています。

ロフト・ライ角の設定が多いオプティフィット4を搭載

「QUANTUM」のユーティリティ シリーズでは、ELYTEのユーティリティから引きつづき、オプティフィット4と呼ばれるアジャスタブルホーゼルを搭載しています。各々のゴルファーごとに好みの弾道を得られやすくするだけでなく、番手間の飛距離のギャップを、より適正なものに調整できるようにもなっています。

進化したステップ・ソールデザインも採用

「QUANTUM」のフェアウェイウッドと同様、ブラッシュアップされたステップ・ソールデザインも新たに採用されました。ステップの中央部分は、従来の台形型というよりは、より三角形に近い形状を採用。アドレス時のヘッドの安定感はキープしつつ、よりソールの抜けの良さがアップしています。

キャロウェイが培ってきたAI設計も継続導入

フェースには、キャロウェイが長年培ってきたAI設計（モデル・番手別専用設計）が導入されています。多くのゴルファーのリアルなイングデータ、弾道データをインプットしながらAIが設計しているものです。今回は、コントロールポイントがさらに強化され、弾道補正効果もこれまで以上に発揮されるようになっており、打点ごとに打ち出し角やスピン量などを最適化しつつ、安定したボールスピードを実現。より遠くの狭い着弾範囲へとボールを運んでくれます。



※イメージ図はQUANTUM MAXユーティリティのものです



ホーゼルには、ロフトとライの設定が多いオプティフィット4を、ELYTEのユーティリティ同様に採用

ELYTEのフェアウェイウッドで初登場したスピードウェーブを第2世代に進化させ、ヘッド内に接着して搭載

フェースは、引きつづきAIによって設計。前作からはコントロールポイントが強化されている

安心感のあるヘッド形状とスコアラインで幅広い層に

「QUANTUM MAX FASTユーティリティ」は、ヘッド後方の膨らみがやや大きめで、トゥとヒールもこれまでより箱型の形状になっており、全体にシャローなフォルムです。より安心感をもたらすヘッドと言えます。また、フェース面にはQUANTUM MAXユーティリティとは異なるスタイルのスコアラインが入られている点も要注目で、アドレス時によりセットしやすいスタイルとなっています。番手はQUANTUM MAXユーティリティより多く、3H、4H、5H、6H、7H、8Hの6種類を用意していますが、ロフト角はQUANTUM MAXユーティリティより各番手で1度多い設定で、ボールが上がりやすい設計となっています。オプティフィット4ホーゼルは全番手に採用。ソール後端のトゥとヒールには台形型のウェイト（約3gと約9g）も搭載しています。

豊富なオリジナルシャフトで、よりフィットした1本を

「QUANTUM」シリーズにおいては、より各々のプレーヤーにぴったりのクラブを提供するべく、フレックスや重量帯のバリエーションも豊富なオリジナルシャフトを採用している点も見逃せません。「QUANTUM MAX FASTユーティリティ」は、SPDSTAR 50、ATHLEMAX 60とATHLEMAX 80の3種類を採用し、幅広い層をカバーできるラインナップとなっています。



QUANTUM MAXユーティリティよりもヘッド後方の膨らみが大きく、安心感のある形状

トゥとヒール部の下部が大きくされているため、全体に箱型の形状に。スコアラインはQUANTUM MAXユーティリティとは異なる入れ方となっている



Press Release
報道関係各位

2026年1月19日
キャロウェイゴルフ株式会社
callawaygolf.jp

【QUANTUM MAXユーティリティ スペック】

番手		3H	4H	5H	6H	7H
フェース素材 / 構造		カーペンター455スチール / 次世代Aiフェース / フォージド・フェースカブ				
ボディ素材		17-4 ステンレススチール+スピードウェーブ2.0+ヒールウェイト約3g+トゥウェイト約13g				17-4 ステンレススチール+ヒールウェイト約3g+トゥウェイト約13g
クラブ長さ (インチ)	[A] [B]	40.75	40.125	39.5	38.875	38.25
ヘッド体積 (cm ³)		106	101	100	94	90
ロフト角 (°)		19.0	21.0	24.0	27.0	30.0
ライ角 (°)		59.75	60.385	61.0	61.625	62.25

シャフト名 (硬さ)		[A](S)	[A](SR)	[A](R)	[B](S)
ラインアップ	3H	○●	□●	□●	○●
	4H	○◎	○●	○●	○●
	5H	○◎	○●	○●	○●
	6H	□	○	○	□
	7H	□	□	□	□
バランス		D2			D3
クラブ重さ (5H)		約363g	約360g	約358g	約372g
シャフト重さ		約70.0g	約67.8g	約64.6g	約85.5g
シャフトトルク		3.3	3.5	3.7	3.1
シャフト調子		中調子			

[A]ATHLEMAX 60(S, SR, R)
¥57,200 (税抜価格¥52,000)



[B]ATHLEMAX 80(S)

¥57,200 (税抜価格¥52,000)



○ : 通常在庫 □ : 受注生産 ◎ : 左用モデル通常在庫 ● : 左用モデル受注生産

* ATHLEMAX 60, ATHLEMAX 80は、シャフトカット前の値になります。

* Assembled in China / Japan ヘッドカバー : Made in China / Vietnam

GRIP : Callaway Tour Velvet 360ラバー バックライン無し 約46g,口径60





Press Release
報道関係各位

2026年1月19日
キャロウェイゴルフ株式会社
callawaygolf.jp

【QUANTUM MAX FASTユーティリティ スペック】

番手	3H	4H	5H	6H	7H	8H
フェース素材 / 構造	カーペンター455スチール / 次世代Aiフェース / フォージド・フェースカップ					
ボディ素材	17-4 ステンレススチール+スピードウェーブ2.0+ヒールウェイト約3g+トゥウェイト約9g			17-4 ステンレススチール+ヒールウェイト約3g+トゥウェイト約9g		
クラブ長さ (インチ)	40.5	39.875	39.25	38.625	38.0	37.375
ヘッド体積 (cm ³)	122	122	115	111	106	101
ロフト角 (°)	20.0	22.0	25.0	28.0	31.0	34.0
ライ角 (°)	58.75	59.25	59.75	60.25	60.75	61.25

シャフト名 (硬さ)		[A](S)	[A](SR)	[A](R)	[B](S)	[C](S)
ラインアップ	3H	<input type="checkbox"/>				
	4H	<input checked="" type="checkbox"/>				
	5H	<input checked="" type="checkbox"/>				
	6H	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	7H	<input type="checkbox"/>				
	8H	<input type="checkbox"/>				
バランス		D1				
クラブ重さ (5H)	約340g	約339g	約337g	約362g	約374g	
シャフト重さ	約51.9g	約49.7g	約48.4g	約70.0g	約85.5g	
シャフトトルク	4.4	4.6	4.8	3.3	3.1	
シャフト調子	中調子					

[A]SPDSTAR 50(S, SR, R)
¥57,200 (税抜価格¥52,000)



[B]ATHLEMAX 60(S)
¥57,200 (税抜価格¥52,000)



[C]ATHLEMAX 80(S)
¥57,200 (税抜価格¥52,000)



○ : 通常在庫 □ : 受注生産 * 左用モデルの設定はありません
* SPDSTAR 50, ATHLEMAX 60, ATHLEMAX 80は、シャフトカット前の値になります。
* Assembled in China / Japan ヘッドカバー : Made in China / Vietnam

GRIP :
GOLF PRIDE J200 ブラック/シルバー バックライン無し
[A]シャフト装着 : 約41g,口径60



Callaway Tour Velvet 360ラバー バックライン無し
[B][C]シャフト装着 : 約46g,口径60

